令和８年熊本地震復興事業

創刊60周年 九州スポーツ＆NIPPO杯

熊本競輪〔ＦＩ〕

熊本けいりんニュース

12/21(月)・22(火)・23(水)　電投番号 87#

S級戦展望　実力と実績の北津留翼

いわき平ＧＰシリーズを直後に控えたＦＩ戦に好メンバーが集結。この中から決勝進出の７名を選ぶのは至難の業ですが頑張ってみます。北日本は山崎歩夢(福島)を先頭に嵯峨昇喜郎（青森）和田圭（宮城）佐々木雄一（福島）。関東は大ブレイクしてる木村皆斗（茨城）には武藤龍生（埼玉）横山尚則（茨城）。南関東は１１０点オーバーしてる佐々木龍（神奈川）は一人でも決勝進出は確実。中近の１班は藤田勝也（和歌山）川口公太朗（岐阜）の２人でも多分予選スタートで目標不在。瀬戸内は島川将貴・久米良の徳島コンビも予選から苦労しそう。九州は熊本バンクで練習してる沖縄の星、伊藤颯馬を先頭に輪界一の愛されキャラ北津留翼（福岡）、中村圭志（熊本）で結束。２班で予選を突破して準優で大暴れするのは山崎歩夢は当然だが、スピードある川上隆義（栃木）に地元は５割増の東矢昇太(熊本)。立ち直り途上の自在型、渡邉雄太（静岡）に、能力はこんなものではない動ける高久保雄介（京都）。50才の大台に乗って開眼した筒井敦史（岡山）は10月の記念に続いて登場。捲りの破壊力は半端無い菊池竣太朗（静岡）。自力・自在の梅崎隆介（長崎）。練習の力を半分も出せてない齋藤雄行（神奈川）はそろそろブレイクする頃。熊本に移籍して地元は初めて走る捲りの小笠原光。自力の田村大（宮崎）。追い込みに転向した畑段嵐士（京都）。

この中から選んだのは山崎歩夢・嵯峨昇喜郎・和田圭の北日本トリオ。木村皆斗・武藤龍生の関東コンビ。佐々木龍は無条件。残る一席は九州の中から北津留翼。展開は地元いわき平ヤングＧＰに出る山崎歩夢を先頭に自在、嵯峨昇喜郎と追い込み和田圭でガッチリとスクラムを組む北日本トリオ。その気に成れば捌きもやれる木村皆斗は武藤龍生と決めるためなら逃げ・捲りの自力と北日本分断は大いに考えられる。武藤は何も言わず好きに走らせるタイプ。狭い所でも平然と突っ込める佐々木龍は関東の後から攻めるか決めずかは、多分後者の方か。九州代表の北津留翼は単騎であればじっくり溜めて、北と関東の争いをマッハ捲り。本命視したのは実力と実績で北津留翼。武藤龍生と佐々木龍の２・３着が狙い。



A級戦展望　曽我圭佑の地元Vか

７人を選出するとすれば１番目は地元代表、曽我圭佑（熊本）、自力でやれるし何と言ってもメンバーそして枠に恵まれるのがその理由。２番目は、チャレンジを特昇で卒業した１２７期の新人、西森一稀（兵庫）、ケレン味のない自力は魅力満載。３番目は実兄龍星（岐阜）を彷彿させる自力型、志田愛希飛（富山）は逃げより捲りに威力ある１２５期生。自力型から追い込み主体の自在型に転身中は村上竜馬（広島）、勝ち上がりで船山真生（愛媛）か藤原俊太郎（岡山）に行けるのは有利。熊本バンクに強い船山は力で準決突破。残り２席はＳ下がりの実力者、舘泰守（愛知）、自在の荒木貴大（埼玉）。準決で曽我に行ける名川豊（福岡）も有力候補。

決勝戦展開は、船山には村上竜で、志田の番手は舘の指定席。曽我は空いてる西森に任せて狙うは地元優勝。関東一人に成った荒木は切れ目からＶ奪取。



頑張れ！熊本

級班	選手名	年齢	期別	ＢＫ数
S1	中　村　圭　志	46	86	0
S2	東　矢　昇　太	40	98	0
S2	小笠原　　光	30	117	1
A1	曽　我　圭　佑	32	113	4
A2	吉　成　貴　博	38	97	0

S級戦出場予定選手（成績は10月29日現在）

級班	選手名	年齢	府県	期別	ＢＫ数
S1	佐々木　雄　一	46	福島	83	0
S1	中　村　圭　志	46	熊本	86	0
S1	北津留　　翼	41	福岡	90	3
S1	和　田　　圭	40	宮城	92	0
S1	藤　田　勝　也	38	和歌	94	0
S1	久　米　　良	39	徳島	96	0
S1	武　藤　龍　生	35	埼玉	98	0
S1	川　口　公太朗	36	岐阜	98	0
S1	横　山　尚　則	35	茨城	100	0
S1	佐々木　　龍	36	神奈	109	0
S1	島　川　将　貴	32	徳島	109	4
S1	嵯　峨　昇喜郎	27	青森	113	6
S1	伊　藤　颯　馬	27	沖縄	115	3
S1	木　村　皆　斗	25	茨城	119	8
S2	紺　野　哲　也	53	宮城	69	0
S2	近　藤　誠　二	48	香川	80	0
S2	大　矢　将　大	47	埼玉	81	0
S2	筒　井　敦　史	50	岡山	85	0
S2	松　岡　健　介	48	兵庫	87	0
S2	高　津　晃　治	47	岡山	87	0
S2	桐　山　敬太郎	44	神奈	88	0
S2	中　園　和　剛	44	福岡	89	0
S2	房　州　輝　也	40	福島	91	0
S2	網　谷　竜　次	40	香川	91	0
S2	安　部　貴　之	43	宮城	92	0
S2	片　折　亮　太	39	埼玉	92	0
S2	三　谷　政　史	44	奈良	93	0
S2	小　谷　　実	39	京都	93	0
S2	伊　藤　勝　太	38	愛知	95	0
S2	東　矢　昇　太	40	熊本	98	0
S2	伊　藤　裕　貴	34	三重	100	0
S2	高久保　雄　介	39	京都	100	1
S2	谷　口　明　正	43	三重	103	0
S2	渡　邉　雄　太	32	静岡	105	0
S2	畑　段　嵐　士	36	京都	105	0
S2	瀬　戸　晋　作	33	長崎	107	2
S2	菊　池　竣太朗	30	静岡	111	3
S2	小笠原　　光	30	熊本	117	1
S2	長谷部　龍　一	30	岐阜	117	0
S2	小　池　千　啓	28	栃木	119	1
S2	田　村　　大	28	宮崎	119	7
S2	小　椋　佑　弥	27	群馬	121	0
S2	齋　藤　雄　行	31	神奈	121	6
S2	原　田　翔　真	26	和歌	121	4
S2	小　川　将二郎	24	徳島	121	3
S2	梅　崎　隆　介	36	長崎	121	7
S2	保　田　浩　輔	27	岡山	123	6
S2	山　崎　歩　夢	21	福島	125	6
S2	川　上　隆　義	26	栃木	125	8

A級戦主力選手（成績は10月29日現在）

級班	選手名	年齢	府県	期別	ＢＫ数
A1	佐　藤　朋　也	46	秋田	89	0
A1	名　川　　豊	36	福岡	99	0
A1	小　原　唯　志	43	茨城	101	4
A1	曽　我　圭　佑	32	熊本	113	4
A1	荒　木　貴　大	33	埼玉	115	2
A1	村　上　竜　馬	30	広島	115	2
A1	志　田　愛希飛	24	富山	125	11
A1	船　山　真　生	22	愛媛	125	5
A2	西　森　一　稀	21	兵庫	127	5

スピードチャンネル実況中継予定

12月21日(月)	12月22日(火)	12月23日(水)
——	SP1(690ch)	——
——	10:15～14:30	——
SP3(692ch)	SP2(691ch)	
10:15～16:30		10:30～16:50

インターネット実況中継予定

KEIRIN.JP

熊本けいりん公式 YouTubeチャンネル

イベント情報等、最新情報はこちら！
熊本けいりん公式ホームページ・SNS

ホームページ　X（旧Twitter）

開門時間

3日間とも午前9時45分

バンク情報

S級戦決め手別1、2着

まくり	マーク	（46回）
差し	逃げ	（46回）
差し	差し	（43回）
差し	まくり	（38回）
逃げ	マーク	（29回）
差し	マーク	（29回）
まくり	差し	（27回）
逃げ	差し	（9回）
その他		（13回）

（2025年4月～2026年10月）

次回開催案内

●熊本ＦⅠ　令和8年熊本地震復興事業「オッズパーク協賛 矢村正杯争奪戦」
デイ開催　1月3日(日)・4日(月)・5日(火)

●熊本ＦⅡ　令和8年熊本地震復興事業「けいりんラブ！ラブリン杯」
モーニング　1月28日(木)・29日(金)・30日(土)

◎北津留　翼（福岡）41才90期生

今年は1月大宮記念を単騎捲りで制すや、ＦⅠ優勝とロケットスタートしたのに暗転したのが2月熊本全日本選抜での落車、怪我の影響もあって不振は長引いたがガールズケイリンの娘（千羽）や家族でマウンテンバイクで乗り込む独特の練習方法で従来のパワーが甦ってるのがここ数ヶ月の成績。熊本には応援団の存在もあり、声援を力に異次元パワーを発揮する。

◎武藤　龍生（埼玉）35才98期生

Ｓ級にも在籍した父嘉伸（59期・引退）の教えを守り、街道・バンク・室内に設置した器具で鍛錬する事で記念・特別でも結果を残している、昔気質の仁義を重んじるマーカー。ＳＳのまま引退した平原康多氏に埼玉輪界の今後を託されたのも頷ける活躍。熊本は2月全日本選抜以来に成るが、直線の長いバンクは得意にして居り、関東の後輩木村皆斗に行ける今回は優勝の絶好機。

◎木村皆斗（茨城）25才119期生

119期在所時はゴールデンキャップ2度に輝いた逸材は同門の先輩、吉田拓矢と時間が合えばバンクで練習する事で急成長。今年はＦⅠ・記念で1着を量産、これが認められ高知サマーナイト・松山オールスター競輪で経験を積み、大ブレイクしたのが弥彦寛仁親王牌、アッと驚く自在戦法で優出。これで一気に全国区のスターに。熊本は10月の記念を走り2勝してるので不安はゼロ。

◎佐々木　龍（神奈川）36才109期生

特別・記念でも活躍した父龍也（57期・引退）に憧れて自転車競技をスタートさせ、早稲田大学時代は長距離走で結果を残し、109期生としてデビュー後は兄弟子、松谷秀幸に2人の弟（眞也・和紀）と中味の濃い練習をやる事で、常時110点をオーバーは努力の結晶。縦脚を磨いてるので決め脚は鋭く、極力前で頑張ってくれる自力型を援護するスタイルは不変。今回は堂々の優勝候補。

◎山崎　歩夢（福島）21才125期生

父は大ギアブームを巻き起こした特別（ＧⅠ）9回Ｖの大スター芳仁（88期Ｓ1）。良血を受け継いだ正真正銘のサラブレッドは高校から本格的に自転車競技をスタートさせるや即結果を出し、ナショナルチームにも呼ばれたが父が果たせなかったグランドスラムの夢を実現せんとプロ入りを決意。ここ迄は順調。現在の狙いはいわき平バンクでのヤングＧＰのＶ。今回は北の先頭で逃げまくる。

◎嵯峨昇喜郎（青森）27才113期生

北日本を代表するイケメンは競輪選手としての素質は抜群でエリート揃いの113期を優秀な成績で卒業するや、いきなり頭角を現わし、記念でも活躍したのに、落車が続きスランプを経験。現在は八戸と冬期間は前橋に移動する事で高得点をキープ。熊本は昨年6月準優を3着でクリヤーするや、決勝は中石湊の番手で優勝を決めたバンク。今回は山崎の番手で恵まれる。

◎和田　　圭（宮城）40才92期生

デビューから19年、一度も陥落する事なく北日本を代表するスタープレーヤーとして記念・特別で活躍するだけでなく、その傍ら弟子を育成、現在では宮城輪界の精神的支柱に。運行は目標定めての追い込みだが、ラインを優先する事で3番手に成る事が多く、それでも生き延びてるのは天性の判断力、シビアに内突く事もあれば外を攻める事も。熊本バンクは得意。